

認定こども園 陽の丘幼稚園

園児数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
257名 (保育園籍:44名)	<input type="radio"/> 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 <input type="radio"/> 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 <input type="radio"/> 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 <input type="radio"/> 体づくりに関する家庭との連携 <input type="radio"/> 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- ・感染症対策を継続しながら、園児たちに必要な生活や遊びのバランスを図る保育を実践する。
- ・保育活動の制限が大きかった昨年度から前進をして、出来る範囲で活動の幅を広げる。

2 実施内容

＜遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫＞

- ・砂場の近くに土山を新しく設けました。

土山に登ったり、ジャンプをしたりして遊ぶ他にも、土を削って泥だんご作りをする子どもも多く見られました。

＜多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫＞

- ・老朽化していた大型すべり台の改修工事をして使えるようにしました。

園のシンボルでもあった大型すべり台が老朽化のため使えませんでした。改修工事を行い数年ぶりに遊べるようになりました。

＜季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成＞

- ・夏季には2年ぶりにプール活動を行いました。

昨年度は活動を自粛していましたが、今年度は学年で日にちを分けて人数を制限しながら全学年プールの活動をすることが出来ました。

＜体づくりに関する家庭との連携＞

- ・昨年度、体力づくり奨励賞をいただいた事をきっかけにプリントを作成して配布しました。

保護者にも子どもの成長には体を動かすことの大切さを知って欲しく、内容をまとめてプリントにて周知を行いました。

＜教職員の資質向上のための取組＞

- ・10月の運動会に向けて、いちご一会とちぎ国体ダンスやパラバルーンに取り組みました。

夏季保育期間等から朝の体操でダンスや、バルーン遊びを通して膨らまし方やボールの飛ばし方等を子ども達と一緒に体験しながら覚えました。

3 主な成果

☆土山を使って工夫をして遊ぶ事で、子どもたちの主体的な活動を引き出す場となりました。

☆何段もある階段を上ってすべり台を行うことで、体全体を使っての動きを身につけられるようになりました。

☆プールという非日常体験を通して、沢山の刺激を受けながら水と親しみました。水への恐怖感も少なくなり、進んで顔を水につけられる子どもが増えました。

☆プリントを配布した反応で、公園に出かけて親子でボール遊びや自転車の練習をした等の話を保護者や子ども達から聞くことが出来ました。

☆職員も新しいダンスやバルーンに取り組む事によって、子ども達と一体感を感じながら練習をしてきたことで、運動会を通して一緒に達成感も共有することが出来ました。

4 資料

土山からジャンプをして楽しんでます



大型すべり台は幼稚園の一番人気になりました



子ども達も先生達も力を合わせて練習をしました



元気いっぱい「ベリーベリーとちぎ」の掛け声



プール活動はみんな大好き！水と触れ合う楽しさを知りました

